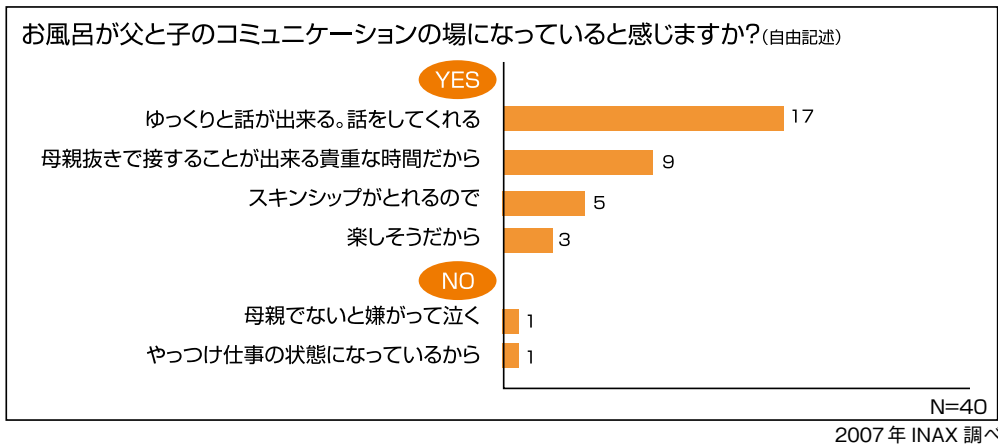


# 3 ゆっくり会話ができるから 親子入浴は大切

## お風呂は父と子のコミュニケーションの場となっています



## お風呂ならではの会話の例をご紹介します

- お風呂で子どもに色々な事を聞くと、テレビやおもちゃなど子どもの興味がそれる邪魔物がなく、きちんと会話してくれるから。
- 普段接していないため、ゆっくり会話する時間がお風呂だから。子どもといると楽しいから。
- 学校や家などの出来事を子どもの立場で知る事ができる。
- 日々の生活で父子だけになるタイミングはこの時くらいしかない。
- 母親抜きで色々な事を語り合えるから。
- 子ども同士の小さなトラブルがあったとき、母親ではつい怒り口調で聞いてしまうので、父親に話をしてもらった。密室で安心したのか、父親には素直に話をしていた。
- 母親は他でもコミュニケーションをとりやすいが、父親にとって休日以外ならお風呂が一番良い場所。1人目が小さい時は、父親が忙しくほとんど一緒に入れなかったが、2人目からはがんばって時間を作ってくれて子どもたちとお風呂に入ってくれている。楽しい時間のようにかなり長風呂。
- リビングでの話よりも、スキンシップ的な質の違うコミュニケーションが出来るため。
- 長男は1才くらいまでほとんど父親がお風呂に入れていたのでなつき度合いが違った。
- 距離感が縮まり、文字通り裸の付き合いが出来る。